

P (構想)

授業づくり規準 (体育/保健体育科)

力 要素	学習指導力 (授業における姿勢や指導方法等、 各教科等共通の授業づくりの力)	教科指導力 (体育・保健体育科の内容に 関わる授業づくりの力)
学習者の実態把握	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の発達の段階を踏まえた上で、生活体験や学習経験は児童生徒によって異なることを意識している。 学習の方法や理解の仕方は児童生徒によって異なることを意識している。 児童生徒の性格や学習に対する意欲等を把握している。 学習集団の特質や、個と集団の関わりを把握している。 個々の児童生徒に対して、指導上配慮すべき事項を把握している。 	<ul style="list-style-type: none"> 体育・保健体育に関する児童生徒の既習事項の習得状況等、学習内容の理解度を把握している。 体育・保健体育に関する児童生徒の興味・関心、意欲等を把握している。 健康状態(病気・けが・体調等)や体力面の状況を把握している。(養護教諭・学校医などとの連携)
教科内容に関する知識・技能	/	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領、教科書記述の内容分析を通して、教科内容の系統性や指導内容の体系化を理解している。 各領域・単元・種目の特性や魅力を理解している。 教材や指導方法の研究に対して意欲があり、常に新しい知識を身に付けている。 段階的な指導方法について理解し、児童生徒の状況に応じて指導できる技術を持っている。
目標の設定	<ul style="list-style-type: none"> 学習は、児童生徒自身の主体的・探究的な活動によって成立することを理解している。 学校の教育目標や課題を踏まえ、育てたい力を捉えている。 学習を通して児童生徒の自信を深め、自己肯定感を高めるという意識を持っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領の目標及び単元の指導目標を観点別評価規準の評価の観点に照らして捉えている。 各領域や単元の目標と児童生徒の実態とを考慮して、適切に目標を設定することができる。 毎時間の授業の指導目標と単元の指導目標とを明確に関連付けている。
単元計画 (授業計画)	<p>(学習指導案の作成)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習指導案の重要性や、目標、内容、方法等の指導案の形式の意図を理解し、指導計画を表現している。 <p>(評価計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> 具体的な到達目標とそのため適切な評価方法を選択・計画している。 自己評価、他者評価等、児童生徒が学習を改善するための手だてを考えている。 	<p>(単元計画の作成)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領の目標及び体育・保健体育の指導目標を達成でき、児童生徒に身に付けさせたい知識・技能が習得・活用できる単元計画を作成することができる。 児童生徒の実態に合わせて、指導内容の明確化・重点化・具体化を図ったり、配列を工夫したりするなどした、単元計画を作成している。 学習指導要領の目標を踏まえ、学年間や校種間の系統性を考慮した計画を立てている。 <p>(評価計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導目標と実際の学習活動と評価が、一体化した評価計画・評価規準を作成することができる。 効果的・効率的な評価計画を作成している。
授業の構成	<p>(学習方法・形態の選択・組織)</p> <ul style="list-style-type: none"> 目標を達成するために、児童生徒の実態を踏まえた適切な学習方法や学習形態を考えている。 新たな知識・技能・学び方等を発見したり、習得したりする喜びを実感できる授業を行うために、学習方法を改良・開発している。 主体的な探究活動や問題解決を考慮して、授業を組み立てている。 児童生徒が学習内容や学習の過程を振り返るための手だてを考えている。 	<p>(学習内容の構成)</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元全体の構造及び指導内容を深く理解した上で、順序性や段階的指導を考慮した学習内容を構成している。 言語活動の充実が図られるような思考・判断を要する場面を想定して学習内容を構成している。 <p>(教材・題材の選択・構成・開発)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領の目標及び単元の指導目標を達成するのに適し、児童生徒の実態に合わせた教材を選択している。 児童生徒の実態に合わせた教材・教具の開発・工夫をしている。 <p>(板書等の計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> 本時のねらいに即し、授業展開を予測した板書を計画している。 本時のねらいを達成するための有効な働き掛けや個への支援を計画している。

D (展開)

力 要素	学習指導力 (授業における姿勢や指導方法等、 各教科等共通の授業づくりの力)	教科指導力 (体育・保健体育科の内容に 関わる授業づくりの力)
学習環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> 学習環境が、児童生徒の安全や認知にどのような効果を与えるかを意識している。 	<ul style="list-style-type: none"> 体育・保健体育の目標や学習内容に応じて、児童生徒が課題解決を図れるような場づくりや教具等を工夫することができる。 領域や単元の特性を理解し、より安全に楽しく運動が実施できるための施設・用具の管理、設営、準備等をしている。
学習への構えや学び方の指導	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒がどのような姿勢で学習に臨めばよいかを明確に示し、児童生徒に意識させている。 学習過程や自分の考えをまとめていけるようなノートづくりを指導している。 	<ul style="list-style-type: none"> 公正や協力、責任や参画といった態度面の育成や、安全や健康について常に意識させる指導をしている。 学習の見通しや、学習に関わり、思考・判断したことをまとめるための、ワークシート等の活用が積極的に行えるような指導をしている。
個や集団への配慮	<ul style="list-style-type: none"> 個への対応に具体的な配慮をしている。 集団における学習の大切さや、個の発言の集団への影響を意識している。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒個々の学習状況や習熟度、健康状態に応じた手だてを講じている。 安全面や学習効果に影響がある、個や集団への配慮やペア・グループ編成を工夫している。
音声・表情・所作等	<ul style="list-style-type: none"> 話し方や表情・所作と児童生徒の反応との関連を意識している。 場面や目的、環境等に応じて、声の大きさ、話の速さ・緩急・強弱等の話し方や表情を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全の確保や学習効果に配慮し、場面に応じた話し方や声の大きさ、表情を工夫することができる。 運動や健康についての学習に対して、積極的な取組を促す肯定的な態度をとることができる。
指導技術	<p>(言葉遣い)</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の発達の段階に応じた適切な言葉遣いをしている。 <p>(説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> 分かりやすい言葉で、端的に説明している。 <p>(指示)</p> <ul style="list-style-type: none"> 目的を意識させながら、どんな行動をすべきかを明確に示している。 <p>(発問)</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒が何を問われているか理解できる発問をしている。 <p>(板書)</p> <ul style="list-style-type: none"> 見やすさを考慮し、視覚的に構造化するなど、工夫しながら丁寧に板書している。 児童生徒の様子を観察しながら、板書している。 <p>(演技・表現)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習場面や教材の特性に応じて、適切だと考える演技をしている。 待つ時間や「授業のやまば」等を意識して授業を展開している。 	<p>(言語)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各領域の基本的な知識として必要な専門的な用語を使っている。 <p>(説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒のつまづきやすい点を推測し、言葉や図、実際の演技等で、「分かる」ように説明している。 <p>(指示)</p> <ul style="list-style-type: none"> 集団を効率よく動かす技術、集中して聞かせる話し方、声の大きさや強弱などを工夫することができる。 <p>(発問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ねらいを達成するために、児童生徒の思考を促したり、焦点化したりする発問をすることができる。 <p>(板書)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習のねらいと内容が明確になり、児童生徒の思考を促す板書や掲示等を工夫することができる。 <p>(演示)</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒が知識・技能を習得するために効果のある指導方法を身に付け、手本を示したり、視聴覚機器等を効果的に活用したりしている。 <p>(教材・教具の活用、資料提示)</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒が知識・技能を習得するために、教材・教具を選択したり、有効な資料を活用したりしている。 <p>(運動量の設定)</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の活動の状況を把握しながら、適切な運動量を確保している。 <p>(安全配慮)</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設・用具や種目の特性による危険な場面を事前に予測し、回避している。 <p>(見学者への配慮)</p> <ul style="list-style-type: none"> 可能な範囲で、審判や作戦係・得点係等の役割や、学習を支援するための役割(例・情報機器の使用)を与え、授業に参加させている。
学習活動における即時対応	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の発言や行動を適切に受け止め、達成感、満足感を感じさせている。 学習内容に適した評価法を用意し、実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の発言や行動の意図を読み取り、体育・保健体育の内容や学習方法に照らして理由を付けて認めるなど、意図的に働き掛けている。 授業目標に照らした理解状況や技の習得状況を捉え、目標・課題の設定や指導方法を修正することができる。

C・A（評価・改善）

力 要素	学習指導力 (授業における姿勢や指導方法等、 各教科等共通の授業づくりの力)	教科指導力 (体育・保健体育科の内容に 関わる授業づくりの力)
授業の振り返りと分析	<ul style="list-style-type: none"> ・「指導と評価の一体化」を意識している。 ・授業によって、児童生徒がいかに変容したかについて、絶えず関心を持っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を達成するための指導が有効であったかを児童生徒の姿から振り返り、目標達成の可否の原因を明らかにすることができる。
改善に向けた手だて	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導の方法の効果について、意識的・具体的に捉え、指導方法の改善に結び付けようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元計画や授業構成、指導方法、評価計画等について常に検証し、改善点を明確にし、授業改善に生かしている。